

はつかいち室内合奏団
“SA・KU・RA”
(さくら)

広島県内でも屈指の音響を誇るはつかいち文化ホールのより有効的活用を図る計画の一環として、ホールを拠点に演奏活動を行うプロ・アンサンブルとして、2020年4月に正式発足した。
毎年10月に開催される「はつかいち平和コンサート」では中心的役割を果たしている。その他、2018年より廿日市市内の市立小学校を対象にした「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」への出演、はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”の指導など、地域に根差した活動も行っている。
2022年10月23日には初の単独冠主催公演として「はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”特別演奏会」を開催、本年1月に行った「はつかいち ニューイヤー・ガラ・コンサート 2023」は好評を博した。
引き続き、廿日市市内での活動を中心に「より市民に親しまれる合奏団」を目指して、積極的に活動を展開していく予定。

※愛称の“SA・KU・RA”(さくら)は公祭によるもので、廿日市市の木でもある桜の樹が市民の心を和ませるように、音楽で人々の心にしさを咲かせる「咲(さ)く楽(ら)」をイメージして付けられました。

メンバー

第1ヴァイオリン 上野 眞樹 後藤 明子 大田 響子 星野 いずみ*
第2ヴァイオリン 今井 千晶 向田 さおり 余島 英子 益 由香
ヴィオラ 藤井 雅枝 増田 喜代 山本 敬子
チェロ 宮本 隆一 吉長 孝穂 泉 玲奈
コントラバス 田中 由加 渡邊 美穂
チェンバロ 高橋 孝子*

*はコンサートマスター
*は団友

制作スタッフ

◆企画・制作 はつかいち室内合奏団運営委員会
◆アドバイザー 山本 章彦 ◆特別顧問 松本 憲治
◆ライブラリアン 佐伯 洋子 山中 玲子
◆ステージマネージャー 檜垣 伸郎 ◆映像収録 auftakt



はつかいちから世界へ
シブヤがつくるダイヤモンドコアドリルは
世界各国で使われています。

MADE INはつかいちのダイヤモンド工具メーカー

広島県廿日市市木材港北 5-86 TEL (0829)34-4500 SHIBUYA

第24回 全国菓子大博覧会 名誉総裁賞受賞



桐葉菓 TOYOKA

商品情報
ご注文はこちら



やまだ屋

地元の恵みで 地元で笑顔を

地産地笑 DelicaWing

デリカウイング株式会社

本社・広島工場
広島県廿日市市宮内工業団地 2-5
岩国工場
山口県岩国市田原 266-3
デザート工場
広島県廿日市市宮内工業団地 1-2
東広島工場
広島県東広島市吉川工業団地 11-9
http://www.dwing.co.jp

減速機・トランスミッション・歯車設計製作

株式会社広島精機

〒738-0039
広島県廿日市市宮内工業団地2-3
Phone 0829-20-2255(代) Fax 0829-20-2256
http://www.hiroshima-seiki.co.jp

100年企業に向けて
新たな起動を。



ここに決めてよかった!!

廿日市市 東洋観光グループHD P250台

スマホでホームページ見ると
見るとこちらから

スマホで
館員入会
入会はこちら

廿日市葬祭会館

広島セレモニー

24時間年中無休 0120-32-4949 廿日市市市街1丁目7-20 事前相談はお気軽に!

浄化槽の管理承ります!!

浄化槽は、法律で定められた基準に従って、維持管理(保守点検及び清掃)を行わなければいけません。当社は浄化槽管理に必要な保守点検・清掃・修理・排水管洗浄をトータルで承っております。

お見積り大歓迎!!(無料)

浄化槽の点検から
お見積りまで
承ります!!

社会に真心を奉仕する
富士企業株式会社

ISO14001/ISO9001取得
TEL:082-299-6634 (浄化槽専用)

〒739-0204 広島県廿日市市宮内工業団地1-10-10
HP http://www.fuji-kei.co.jp

はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”



はつかいち室内合奏団
“SA・KU・RA”
演奏会 2023

2023年6月17日(土) 15:00開演
※はつかいち文化ホール ウッドワン 2F5B小ホール

指揮・ヴァイオリン: 澤 和樹

©Kenshu Shintsubo



委嘱作曲家: 徳永 崇

- [主 催] 廿日市市、(公財)廿日市市芸術文化振興事業団
- [助 成] (公財)エネルギー文化・スポーツ財団
- [協 力] 日本音楽財団(日本財団助成事業)
- [特別協賛] 株式会社シブヤ、株式会社やまだ屋
- [協 賛] デリカウイング株式会社、株式会社広島精機、広島セレモニー株式会社、富士企業株式会社

5月18日現在、ご協賛いただいている企業様を五十音順に掲載しています。
はつかいち室内合奏団を応援してくださる企業様を募集しています。詳しくは、ウッドワンさくらびあ事務室までお問合せください。

弦楽のための組曲(1973) ————— J. ラター
Suite for Strings John Rutter (1945-)

- 1. A-Roving
- 2. Have a bonnet trimmed with blue
- 3. O Waly Waly
- 4. Dashing away with the smoothing iron

ヴァイオリン協奏曲第2番 ホ長調 BWV1042(Vn solo:澤 和樹) ————— J. S. バッハ
Violin Concerto no.2 in E major BWV1042 Johann Sebastian Bach (1685-1750)

- I. Allegro
- II. Adagio e sempre piano
- III. Allegro assai

「萬歳楽」によるパラフレーズ ～弦楽のために～ (2023/委嘱初演) ————— 徳永 崇
Paraphrase based on “Manzairaku” for String Orchestra Takashi Tokunaga (1973-)

— 休憩 —

弦楽のためのセレナード ハ長調 op.48 ————— P. チャイコフスキー
Serenade for Strings in C major op.48 Pyotr Tchaikovsky (1840-93)

- I. Pezzo in Forma di sonatina; Andante non troppo - Allegro Moderato
- II. Waltz; Moderato (Tempo di valse)
- III. Elegie; Larghetto elegiaco
- IV. Finale (Tema russo) ; Andante - Allegro con spirito

弦楽のための組曲(1973) / J. ラター

ジョン・ラターはイギリスの作曲家で、合唱のための作品を多く作っており、彼の作曲したアンセム(聖歌)は、ウィリアム王子の結婚式などイギリス王室の行事で度々歌われている。

弦楽のための組曲は4つの楽章で構成されており、それぞれに「さすらい」、「私の青い縁取りのボンネット」、「おお ウェイリー ウェイリー」、「アイロンをかけまくる」という標題が付けられ、イングランドやスコットランドの民謡がモチーフになっている。聞き心地のよい旋律と軽快なリズムの組み合わせによって、親しみやすい作品となっている。

ヴァイオリン協奏曲第2番 ホ長調 BWV1042 / J. S. バッハ

現存するバッハの3曲のヴァイオリン協奏曲は、いずれも1720年前後のケーテン宮廷楽長を勤めていた頃に作曲され、第2番は其中で最も演奏される機会が多い。ミ、ソ、シの印象深い分散和音で始まる華やかな雰囲気にも包まれた第1楽章、繰り返される低音のパッセージの上を独奏ヴァイオリンの美しい旋律が流れる第2楽章、舞曲風の旋律が独奏ヴァイオリンの技巧的なフレーズとともに何度も繰り返される第3楽章、ヴィヴァルディに代表されるイタリアン・バロックの協奏曲形式に基づきながら、バッハ特有の構造的な美しさによって、より洗練された協奏曲へと昇華されている。

「萬歳楽」によるパラフレーズ ～弦楽のために～ (2023/委嘱初演) / 徳永 崇

厳島神社では、年中行事において多くの舞楽が上演されている。建造物としての価値はもちろんのこと、このような無形の文化の継承も、厳島神社の重要な役割の一つである。音や所作を通して古の人々と交流できる、特別な時空間を創出しているとも言えよう。このかけがえの無い遺産と、廿日市市を拠点に活動する“SA・KU・RA”を繋ぐ作品として、私は舞楽の一演目「萬歳楽」の弦楽合奏編曲を試みた。弦楽器のしなやかな音色によって、新しく衣替えをした「萬歳楽」を味わって頂けたら幸いである。(徳永 崇)

弦楽のためのセレナード ハ長調 op.48 / P. チャイコフスキー

弦楽合奏のための作品の中で、最もよく知られた名曲のひとつ。1880年にウクライナのカミヤンカで作曲された。チャイコフスキーが常に抱いていたモーツァルトへの憧憬とロシア的要素が見事に融合された作品となっている。格調高い序奏で始まり、軽やかな主部との対比が鮮やかに重厚な構成の第1楽章、第2楽章のワルツはとても優美で愛らしい。「悲歌」と題された第3楽章は穏やかで美しい旋律の中に悲しみを湛えており、2つのロシア民謡が引用されている終楽章は活気に溢れ、最後に第1楽章の序奏に戻り、力強く曲が締めくくられる。

ご挨拶



廿日市市長
松本 太郎

はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2023の開催をお祝い申し上げます。はつかいち文化ホールのこうした活動の数々が「令和4年度地域創造大賞」の受賞に繋がったものと、深く敬意を表します。

本年度は、例年の演奏活動に加え、11月26日には「長崎OMURA室内合奏団」との交流演奏会を開催されると伺っており、文化の香り高いまちとして本市の魅力増進につながることを期待しております。

本日は、昨秋に続き、前東京藝術大学長の澤 和樹先生を指揮・独奏ヴァイオリンに迎える演奏会です。ご来場のみなさまには素晴らしい演奏を存分に楽しんでいただければと思います。

結びに、コンサート開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。



はつかいち室内合奏団
運営委員会 委員長
濱本 恵康

本日は、「はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2023」にご来場いただき、誠にありがとうございます。はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”は、これまで市長をはじめとして、地域のみなさまの温かいご理解とご支援をいただいております。以来、結成5年目にして“SA・KU・RA”の演奏は、年々力を増してきました。そして今回は、“SA・KU・RA”の新たな魅力を発揮すべく、広島大学の作曲家 徳永 崇 氏のお力添えをいただいて新曲の披露

に挑戦することとなりました。ご来場のみなさまにとりましても、室内合奏団の新たな世界観に触れることができることと思っています。是非、最後までお楽しみいただき、引き続きのご支援をお願いしたいと思います。

澤 和樹 (指揮・ヴァイオリン) Kazuki Sawa



1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ウィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞し、イザイ・メダル、ホルダー音楽祭金メダルを受賞した。1980年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジェルジ・パウク、ベラ・カトーナの両氏に師事。1984年に東京藝大に迎えられとともに本格的な演奏活動を開始し、1989年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。1996年より指揮活動を開始。2003年、2004年には響ホール室内合奏団、2005年には東京弦楽合奏団を率いて英国各地で演奏し絶賛される。日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などにも客演し好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。東京藝術大学・英国王立音楽院名誉教授。東京大学先端科学技術研究センター・フェロー。2023年、韓国文化体育観光部長官賞を受賞。

徳永 崇 (作曲家) Tokunaga Takashi



1973年広島生まれ。広島大学大学院教育学研究科、東京藝術大学音楽学部別科作曲専修及び、愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。作曲を、早川正昭、久留智之、野田暉行の各氏に師事。ISCM World Music Days入選(2002/香港、2014/ヴロツワフ)。武生作曲賞受賞(2005)。作曲家グループ「クロノイ・プロトイ」メンバーとして、サントリー芸術財団第9回「佐治敬三賞」受賞(2010)。テグ国際現代音楽祭招待作曲家(2006・2011/韓国)。代表を務めるアンサンブル・アッカが広島文化賞受賞(2022)。作品は国内をはじめ、欧州・アジア各地で演奏されている。2021年4月より1年間、フィンランドのタンペレ応用科学大学に交換研究員として在籍。沖縄県立芸術大学音楽学部助手、仁愛女子短期大学音楽学科准教授を経て、現在、広島大学大学院人間社会科学部准教授。エリザベト音楽大学、広島文化学園大学各講師。